

よっかいち

市議会

だより

11月定例会月議会号



若者から見た商店街を

三重県立
四日市
商業高校



私たち、ちゃいろがーるズがSNSを使って



Z世代×おもしろいで発信中!



商店街を「Z世代×おもしろい」で発信せよ



四日市商店街
人の広報大使

突如任命☆ちゃいろがーるズの挑戦

テレビ・新聞など取材殺到中!



ちゃいろがーるズが商店街の魅力SNSや動画で発信
～四日市商業高校「課題研究」シティ・マネジメント講座～



市議会HP
情報発信中!

特集は22頁へ

11月定例月議会の概要

11月29日から12月25日までの27日間で開催しました。

市長提出の54議案を審議し、すべて原案のとおり可決、同意しました。また、議員提出議案について1件を原案のとおり可決したほか、請願については1件を採択し、1件の審査期限を令和6年3月25日まで延期しました。

日 程

11月	29日	本会議 初日	12月	8日	本会議（一般質問）
		予算常任委員会総務分科会		～9日	
		予算常任委員会教育民生分科会		12日	本会議（一般質問 ほか）
12月	6日	予算常任委員会全体会		13日	各常任委員会／予算常任委員会各分科会 （総務、教育民生、産業生活、都市・環境）
		本会議（一般質問）			
		都市・環境常任委員会			
12月	7日	本会議（一般質問）	19日	予算常任委員会全体会	
		教育民生常任委員会			
			25日	本会議 最終日	

議決結果

【全会一致で可決・同意された議案】

番 号	市 長 提 出 議 案
議 案	43 令和5年度 一般会計補正予算（第5号）
	45 令和5年度 競輪事業特別会計補正予算（第1号）
	46 令和5年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	47 令和5年度 食肉センター食肉市場特別会計補正予算（第1号）
	48 令和5年度 土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
	49 令和5年度 介護保険特別会計補正予算（第1号）
	50 令和5年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	51 令和5年度 水道事業会計第2回補正予算
	52 令和5年度 市立四日市病院事業会計第1回補正予算
	53 令和5年度 下水道事業会計第2回補正予算
	56 市職員給与条例の一部改正
	57 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
	58 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
	59 特別会計条例の一部改正
	60 総合会館条例の廃止
	61 楠ふれあいセンター条例の一部改正
	62 なや学習センター条例の一部改正
63 市民活動センター条例の一部改正	

議 案	64	国民健康保険条例の一部改正
	65	子どもの医療費の助成に関する条例の一部改正
	66	市立こども園条例の一部改正
	67	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	68	市営宮妻峡ヒュッテの設置及び管理に関する条例の廃止
	69	水道事業及び下水道事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部改正
	70	農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
	71	水道事業給水条例の一部改正
	72	水道布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部改正
	73	市立図書館充実基金条例の制定
	74	小中学校保健室等空調設備整備事業に係る特定事業契約の締結
	75	工事請負契約の締結　－三滝テニスコート改修工事－
	76	工事請負契約の締結　－四日市市民公園整備工事－
	78	工事請負契約の締結　－垂坂1号線ほか1線道路改良工事（その2）－
	79	工事請負契約の締結　－博物館エレベーター改修工事－
	80	市民交流会館の指定管理者の指定
	81	楠福祉会館の指定管理者の指定
	82	すわ公園交流館の指定管理者の指定
	83	勤労者・市民交流センターの指定管理者の指定
	84	北部墓地公園の指定管理者の指定
	85	市営中央駐車場及び市営本町駐車場の指定管理者の指定
	86	歯科医療センターの指定管理者の指定
	87	障害者福祉センターの指定管理者の指定
	88	障害者自立支援施設たんぽぽの指定管理者の指定
	89	障害者自立支援施設共栄作業所の指定管理者の指定
	90	障害者自立支援施設あさけワークスの指定管理者の指定
	91	母子・父子福祉センターの指定管理者の指定
	92	文化会館、三浜文化会館及び茶室の指定管理者の指定
	93	市道路線の認定
	94	令和5年度一般会計補正予算（第7号）
	95	戸籍関係等手数料条例の一部改正
	96	農業委員会委員の任命

番 号	件 名
請願 5	四日市市中心市街地における公設喫煙所の設置を求めること

番 号	議 員 提 出 議 案
発議 11	議員の派遣

委員会審査

常任委員会の審査で出された主な意見等の概要をお知らせします。

総務常任委員会

今後の総合会館の貸館は？

◆総合会館条例の廃止

問 総合会館の一部の貸館を廃止するのに当たり、利用者の声を聞き取っているのか。

答 令和3年度に議会へ説明してから1年以上の期間、利用者へ周知してきた。貸館の問い合わせの際には、なやプラザや三浜文化会館など、他の貸館施設を案内している。

問 今回の貸館の廃止には総合会館8階の視聴覚室や展示室も含まれるのか。

答 視聴覚室と展示室は別の条例に基づき設置しているため、貸館利用に影響はない。



教育民生常任委員会

空調設備整備で学校の環境をより良いものに

◆小中学校保健室等空調設備整備事業に係る特定事業契約の締結

問 学校施設の空調整備は入札不調が続いていたが、今回の入札に当たりどのように対応したのか。

答 不調の原因として急激な物価上昇があった。今回は十分に市場調査等をしながら予定価格を決定したことで、応札につながったと考えている。

問 今回落札した事業者からはスムーズな応札があったのか。

答 入札不調になった前回の入札も含め、今回の実施方針を示してから興味を示していた事業者であり、今回のスムーズな応札につながったと認識している。

産業生活常任委員会

物価高騰を考慮した指定管理料に

◆指定管理者の指定（すわ公園交流館、勤労者・市民交流センター）

問 指定管理者の候補者からの提案価格は、物価高騰による光熱費の値上げを想定したものとなっているのか。

答 物価高騰の影響を考慮した提案となっている。

都市・環境常任委員会

物価高騰が円形デッキ整備に及ぼす影響は？

◆工事請負契約の締結－近鉄四日市駅周辺（四日市中央線）整備工事（その5）－

問 円形デッキの整備工事全体の費用を確認したい。

答 物価高騰等の影響により、全体の工事費を約17億円と見込んでいたが、そのうち土木工事費が約6億8000万円から約8億8000万円となった。土木工事費以外の建築工事費への物価高騰の影響は精査中である。

問 円形デッキの工事費は、デッキを直線的に設置する場合と比較してどうか。

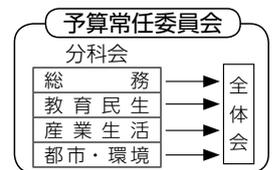
答 円形デッキの方が費用は高くなるが、街中の景観づくりと公共交通機関同士の移動ルート確保を両立できることから、円形のデッキを設置する。

意見 資材等の価格が上昇し、想定を大きく超える金額となった場合、市民の理解が得られるのか。円形デッキの総工費をある程度明確にすべきだ。



予算審査について

予算の審査は、まず、四つの分科会で詳細に審査を行います。その後、全体会で各分科会から審査の経過と結果を報告し、必要な事項については全体会でさらに議論を深めます。



予算常任委員会分科会

総務分科会

本市へのふるさと納税額の増加理由は？

◆ふるさとと応援寄附金事業

問 本市への寄付額の速報値が前年度と比較して大きく増えたとの報道があったが、現時点でどの

ように評価しているのか。

答 令和5年4月から10月までの寄付額が、速報値で前年の約3倍となった。ふるさと納税の寄付が最も増える12月に合わせ、返礼品の追加などに取り組む。

意見 多くの人に選ばれる返礼品を発掘するなど、より効果的な取り組みを進めてほしい。

問 前年度と比較して寄付が増えた理由をどう分析しているのか。

答 ポータルサイトで使う返礼品の写真を工夫したり、丁寧な説明を入れたりすることにより、本市の地場産品の魅力の伝え方を工夫したことが、寄付の増加につながったと考えている。

都市・環境分科会

ムクドリによるふん害への対応は？

◆都市公園等施設管理業務（除草清掃等）委託

問 中央通り周辺の街路樹に止まるムクドリのふんは、公園管理の範囲内として定期的に清掃しているのか。

答 街路樹はシルバー人材センターに維持管理を委託しており、この委託の範囲内で清掃を行っている。

意見 引き続き適切に清掃してほしい。

喫煙所の清掃の現状は？

◆喫煙所清掃等業務委託

問 清掃の対象となる喫煙所は何カ所あって、どのような清掃委託をしているのか。

答 3カ所の喫煙所の清掃のほか、近鉄四日市駅周辺の吸い殻の清掃も行っている。現在は近鉄四日市駅東側の喫煙所が撤去されたため、2カ所の喫煙所の清掃を行っているが、令和6年2月からは撤去された喫煙所の代替として設置される予定の仮設の喫煙所も含めた3カ所の清掃を継続していく。



教育民生分科会

学校の採点作業自動化の効果は？

◆デジタル採点システム

問 紙面に書かれた答案をパソコンに読み込ませ、教員の採点にかかる時間を短縮するシステムの導入について、システムが自動で採点する場合の精度はどの程度か。また、教員が部分的に点数を付けるなどの裁量がなくなってしまうのではないか。

答 平仮名などの文字を細かく判別することは難しいが、選択問題などは自動採点が可能である。また、点数の裁量については、部分点を与える機能もある。

意見 手書きの採点には、教員がメッセージを書いてくれるなど、手書きならではのコミュニケーションの役割もあったと感じる。システム導入は教員の負担軽減につながるが、こうしたコミュニケーションも大切にしてほしい。



産業生活分科会

原材料不足が懸念される萬古焼への支援は？

◆萬古焼生産安定化支援事業補助金（萬古焼振興事業費）

問 補助金額はどのように積算したのか。

答 陶土の粒度やペタライトの含有量を変えた複数の試験用陶土を用いた試作品の製造にかかる、原料費や焼成費として1000万円を見込んでいる。

問 新しい陶土を研究していく中で、さらなる支援の予定はあるか。

答 今回の取り組みの結果、さらに試作等を行う必要があれば、状況を見て判断する。



予算常任委員会全体会

さまざまな視点からプール整備の検討を

◆温水プール整備事業費

意見 今まで市の方針について協議を重ねてきたはずの四日市水泳協会から、事業の中止と新たな50mの屋内水泳競技場の建設を求める陳情が議会に提出されたことを重く受け止めるべきである。コスト削減の手法を工夫し、学校の水泳指導でも使用可能な可動床の機能を備えた新施設の検討

を前向きに進めてほしい。

意見 四日市水泳協会には、民間プール施設を活用した学校の水泳指導など、さまざまな事業で連携・協力を求めていく必要がある。今後の本市のプール施設の在り方を考える上では、競技施設や教育施設としての視点も踏まえながら、同協会と丁寧に協議を進めていくことを強く求める。

8月定例会議会 議会報告会

今回は、10月16日(月)、17日(火)に4常任委員会ごとに議会報告会、シティ・ミーティングを開催しました。

いただいたご意見については、市議会で周知を図り、今後の議会活動や市政発展への参考とさせていただきます。

◆各会場での主な内容を要約してご紹介します。詳しくはホームページへ→



総務常任委員会 (あさけプラザ)

問 避難行動要支援者名簿や住民一人ひとりの防災行動計画(マイタイムライン)の作成状況を知りたい。

答 避難行動要支援者名簿は自治会などと作成を進めており、議会も取り組み状況を確認していく。マイタイムラインについては、重要な取り組みではあるが、作成が進んでいないように感じている。

産業生活常任委員会 (下野地区市民センター)

問 マイナンバーカードによるコンビニでの証明書交付はどれくらいあるのか。

答 証明書等の取得件数のうち、コンビニ交付が占める割合は10%程度と把握している。



教育民生常任委員会 (内部地区市民センター)

問 保育園、幼稚園ではさまざまなニーズに対応する必要があり、若い保育士、幼稚園教員にとって負担が大きいのではないのか。

答 本市では若い保育士や幼稚園教員が、さまざまな責任を背負いながら仕事を続けられるよう支援する幼児教育センターを設置しているので活用してほしい。

都市・環境常任委員会 (常磐地区市民センター)

問 身近な民有地を住民が自らの手で管理・整備し、市民の憩いの場として活用する市民緑地制度を利用した土地の管理を増やす方針なのか。

答 市がすべての里山を管理するのは難しいため、地域団体等に管理を依頼しているが、受け入れてもらえる団体がなかなか出て来ないのが現状である。

2月定例会議会 議会報告会 (予定)

2月定例会議会の議会報告会を3月28日、30日に開催します(詳細は下記参照)。

第1部の議会報告会では2月定例会議会の議案の審査における議論の経過や結果などを市民の皆さんに報告します。第2部のシティ・ミーティングでは市民の皆さんと意見交換を行います。

事前申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

※当日の天候や感染症等の状況により、中止や開催方法を変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※シティ・ミーティングのテーマが決定しましたら、市議会ホームページやチラシ等でお知らせします。

第1部：議会報告会 第2部：シティ・ミーティング(意見交換会)

日時	3月28日(木) 18:30~20:30	3月30日(土) 13:30~15:30
会場	総合会館 7階 第1研修室	三浜文化会館 2階 視聴覚室

※会場でのやりとりを基本としてご意見をいただきます。 ※手話通訳、要約筆記します(事前予約は不要です)。

※状況によっては、予定時刻よりも早く終わることがあります。

※開催3時間前に、大雨、暴風、大雪、津波のいずれかの警報が発表された場合、あるいは開始3時間前の時点で短時間のうちに各警報が発令される可能性が高いと認められる場合、また市域に震度4以上の地震が発生した場合は、開催を取り止めます。なお、開催を取り止める場合は、市議会ホームページやSNSでお知らせします。

一般質問した議員と項目（質問順）

今村 厚美	<ul style="list-style-type: none"> ・「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画で感じた違和感 ・公共施設配置の地域バランスについて ・次代に継承したい「智積養水」
水谷 一未	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産業萬古焼の今後に向けて ・動物愛護活動の課題について
田中 徹	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適正化について 「廃止した公共施設の地域での活用について」 ・現状の公会所・集会所等の登記について ・今後の地域の公会所・集会所等はどうなってゆくのか 「自治会の法人化について」
小林 博次	<ul style="list-style-type: none"> ・JR四日市駅周辺の再開発（まちづくり）について
太田 紀子	<ul style="list-style-type: none"> ・有機フッ素化合物汚染について ・体育館の空調設備の設置を
村上 暁	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館について 新図書館の立地場所とコストの懸念 現図書館の扱い
森 智子	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の現状と今後について ・総合経済対策の本市の動向について ～物価高騰 どうする四日市～
荒木 美幸	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策
樋口 博己	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の食肉文化を守り育てよう！ ～食肉センター・食肉地方卸売市場施設の一方通行化・新施設整備～
山口 智也	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子どもやその家族に寄り添った環境整備を！
上 麻理	<ul style="list-style-type: none"> ・運動場・公園の危険金属による負傷を防ぐ為に必要な対策 ・どうせつくるなら!!! ニワミチで環境学習 ・職員のパフォーマンス向上の為に憩いの場（休憩室）の在り方 ・四日市鈴鹿環状バイパスNo. 2
笹井 絹予	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの利便性と働く人のキャリア支援～
森川 慎	<ul style="list-style-type: none"> ・アピアランスケアについて ・中央通り整備の進め方について
荻須 智之	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市交流の今後について ・大矢知地区の通学路の安全確保について
伊藤 嗣也	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児を、障がい者を、給食を、森や川を、本気で守れますか？
笹岡秀太郎	<ul style="list-style-type: none"> ・アーバンスポーツの振興について
伊世 利子	<ul style="list-style-type: none"> ・四日市市職員の生理休暇の取得について ・重症心身障がい児の在宅ケア レスパイト機能について ・市立四日市病院に医療メディエーション（相談室）の設置について
小田あけみ	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護要支援認定について ～他市町と比べて厳しすぎるのでは？ ・生産緑地2022年問題のその後 ～知らないうちに増えている資材置き場やソーラーパネル
後藤 純子	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活の安定の確保について ～良好な近隣関係の保持と健全な生活環境～ ・多文化共生について ～日本語教育の質の維持向上に向けて～
村山 繁生	<ul style="list-style-type: none"> ・マンホールの液状化対策について ・高齢者の運転免許証自主返納に対する支援策について

一般質問した議員と項目 (質問順)

加納 康樹	・「中小企業振興基本条例を制定すべきではないか」 ～地域社会・地域経済を支える中小企業の振興のために～
山田 知美	・子育てしながら働きやすい環境づくり
辻 裕登	・使いやすい公共施設予約システムを目指して ・時代の変革に合わせた職員採用試験実施について ・生涯学習を通じたコミュニティ情報の提供
平野 貴之	・どう変わる？コロナ後の国際交流 ・山を守れ！ 今こそ持続可能で地域を活性化する自伐型林業を
早川 新平	・本市の空き家対応について ・自主防災組織の現実に直面する問題
諸岡 覚	・PTAをもっと楽しく！ もっとクリアに！

一般質問から

一般質問は、定例月議会において、議員が議案に関係なく市政の諸課題や将来への展望等について市の考えをたずめます。

11月定例月議会は、26人が一般質問を行いました。その中から主な質問と答弁をご紹介します。

- ・ 質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（次の2月定例月議会ごろに公開予定）」をご覧ください。
- ・ QRコードから各議員の質問の映像を見ることができます（視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります）。

自治会

利点が多い自治会の法人化を支援せよ



市民目線の会
たなか とおる
田中 徹

議員 令和6年度から相続登記が義務化されるなど、不動産の所有者を明確にすることが求められている。地域の集会所や公会所についても所有権に関するトラブルを防ぐため、所有者を明確にすべきである。集会所や公会所を自治会の所有として登記するためには、市の認可を受けて自治会を認可地縁団体（※）として法人化する必要があるが、自治会の法人化には不動産登記のほかに、どのような利点があるのか。

市民生活部長 法人化することで、自治会として契約行為等ができるほか、自治会運営の透明性が高まるなどの利点がある。しかし、法人化に向けて自治会員への意思確認や事務手続きなどの負担が増えることへの不安の声もある。市ではパンフレット等で認可地縁団体制度の周知に努めるほか、法人化が自治会の運営に有効であることを丁寧に説明していく。

議員 法人化の手続きは自治会にとって大きな負担であり、自治会だけで進めることは難しい。手続きを司法書士や行政書士に依頼した場合の

費用を補助するなど、自治会の負担を軽減する施策を検討すべきではないか。

市民生活部長 法人化を司法書士や行政書士へ依頼する費用のほか、不動産登記の費用を補助する他市町の先進事例も参考に、自治会の法人化支援につながる施策を検討するなど、公会所等の自治会の財産の保全や自治会の継続的な活動につながる支援に取り組む。



自治会が管理している地域の公会所。自治会の法人化に向けた行政の支援が求められる



※ 一定の要件を満たし、手続きを経て法人格を得た自治会等の地縁による団体

子育て支援

市の西部に児童館の整備を



無会派
いまむら あつみ
今村 厚美



議員 国のこども子育て支援の政策で児童館に触れられているが、市内の児童館は沿岸部にしかない。市西部に住む保護者や子どもたちは児童館を利用しにくく、児童館の存在すら知らない人もいると思われる。また、総合会館にあるおもちゃ図書館（※）は多くの親子が利用している。市西部には閉園予定の幼稚園が複数あるので、子どもに関わる施設を市内にバランス良く配置するために、幼稚園の跡地等を活用して、児童館やおもちゃ図書館を整備すべきだと思えるがどうか。

こども未来部長 本市総合計画においては、こども子育て交流プラザのような全市的な拠点施設の拡充を検討することとしており、現時点で

※ おもちゃで遊ぶことを通して、障害のある子ども等の情操や生活機能の発達を促し、子どもたちの交流を図る施設

は、単独施設として、新たに児童館やおもちゃ図書館を整備することは考えていない。専任の児童厚生員が学童保育所や地域団体等が開催する行事に出向いて、遊具の貸し出しや遊びの指導を行う移動児童館、地域で開催する移動おもちゃ図書館をさらに充実させることで、市西部を含む、児童館やおもちゃ図書館がない地域の子どもたちにも遊びを提供し、地域における子育て支援の推進を図る。

議員 子育て支援にはきめ細かい行政サービスの提供が必要であり、市内の人口のバランスを考慮した合理的な施設の配置により、身近に子育て支援施設があることが重要だと考える。住民の身近な場所への設置を検討してほしい。

地場産業

萬古焼を産業、伝統文化として残していくために



市民目線の会
みずたに かずみ
水谷 一未



議員 萬古焼は本市を代表する地場産業であり、耐熱性に優れた土鍋は全国シェアの大半を占めるなど、本市の発展に大きく貢献しているが、廃業して住宅地になった所も多い。市は萬古焼を産業や伝統文化としてどう残していくのか。

商工農水部長 新技術や新製品開発、販路拡大への支援のほか、萬古陶磁器工業協同組合が行う製陶技術者を養成する研修「やきものたまご創生塾」を支援するなど、官民を挙げて取り組んでいる。今後も萬古焼が産業として維持、発展できるよう支援していく。

シティプロモーション部長 文化会館等の指定管理業務において、四日市市文化まちづくり財団（以下、財団）が萬古焼の展示をしたり、作家

の協力を得て、茶室利用者が好みの茶碗で茶を楽しむ機会を設けたりするなど普及に努めている。今後も市と財団が連携し、市民が萬古焼等の伝統文化に触れられる機会の充実に努める。

議員 ペタライト（※）の入手が困難になっており、危惧している。市はどう対応するのか。

商工農水部長 原料の安定的な確保を県と共に国に対して要望している。また、ペタライトの配合割合を低減するための研究等を積極的に支援するため、今議会に補正予算案を上程した。引き続き県と連携して支援に取り組む。

議員 関係部局や県と連携し、原料の確保や販路拡大への支援など、事業者が安心できるよう萬古焼産業の一層の活性化に取り組んでほしい。

※ 萬古焼の原料となる鉱石で、耐熱性を高めるため加えるもの。リチウムを含むため電池の材料として世界的に需要が高まっている

まちづくり

市民目線のニーズを取り入れた中心市街地再開発を



市民目線の会
こばやし ひろつぐ
小林 博次



議員 JR四日市駅の自由通路の整備をはじめ、新図書館整備から、みなとまちづくりプランまでを含めた再開発事業は、どの程度の事業費か。

政策推進部長 中央通り再編事業については総額で約200億円を試算している。その他新図書館、大学等については、個々の計画や詳細設計を行っていく中で事業費を示したい。

市長 さまざまな事業が重なり合って大きな効果を生む。しっかりと精査して議会に示したい。

議員 JR四日市駅の建て替え時期はいつか。また、JR四日市駅の駐輪場は周辺3カ所に分散しており、不便である。1カ所に集約して、地下駐輪場を整備してはどうか。

都市整備部長 令和7年度には自由通路や駅舎

の整備事業の合意が得られるようJR東海およびJR貨物と協議を進める。また、令和9年度の中央通り再編事業の完成に引き続いて着工できるよう取り組んでいく。駐輪場については、大学を核とした拠点施設の用途や規模、配置の検討が進んだ段階で、設置位置や構造、必要台数を検討し整備を考えていきたい。

議員 JR四日市駅周辺に整備予定の文化交流施設の検討状況はどうか。

政策推進部長 文化交流施設の一つとして、小規模ホールの設置の検討を進めたい。

議員 文化交流施設内に若い世代が無料で利用できる施設や、高齢者の健康づくりができる施設を設置することも含めて検討してほしい。

公共施設

避難所となる体育館への空調の整備を



日本共産党
おおた のりこ
太田 紀子



議員 学校の体育館は指定避難所になっているが、空調設備がないため、猛暑の時期に発災した場合、二次被害が発生する可能性がある。体育館に空調設備が必要だと考えるが、市の見解はどうか。

副教育長 国が公表する全国の小中学校の体育館における空調設備の整備率は11.9%と低い水準である。整備には、断熱性など建物性能の向上を図るために多額の費用がかかることや、空調方式や機器の能力、改修期間中に体育館を使用する学校行事との調整など多くの検討課題がある。また、築50年を超え、近い将来に建て替えが必要になる体育館もある。これらの状況を踏まえながら、先事例の調査研究に努めたい。

議員 あさけプラザも指定避難所だが、体育館に空調設備はなく、シティ・ミーティングの場で市民から要望があった。防災に関する国の補助を利用して設置すべきではないか。

市民生活部長 小中学校と同様に設置・運用にかかる費用や効果を検討する必要があるほか、有料の貸館施設であるため、利用者負担を検討しなければならない。利用者のニーズを把握するとともに、空調設備の設置に係る国の動向を注視しつつ、引き続き調査研究を行いたい。

議員 他市では国の交付金に頼らず、整備を進める自治体もある。本市の財政状況を考えればできるはずである。子どもたちの健康と命を守るためにも、体育館への空調設備の設置を望む。

図書館

新図書館の立地場所を再検討せよ



日本共産党
むらかみ たかひろ
村上 暁



議員 新図書館の建設予定地は県条例で定める店舗型風俗特殊営業（以下、風俗店）の許可区域の近くにある。風俗店が存在する場所に図書館を設置するというのは風営法（※）の趣旨からすると不適当と思われるが、どうか。

政策推進部長 図書館の立地場所については風営法の規制を受けるものではないため、当該地に図書館を設置することは可能である。また、既に児童館が近くにあるため、風営法に基づき新たな風俗店は出店できない。図書館を安心して利用できるよう、関係部局と連携し客引き行為を防止するなど、周辺環境の整備に努めたい。

議員 新図書館の建設予定地は民有地であるため、借地料が発生する。本市で地価が一番高い

場所であるため、借地料も高額になると思われる。比較していた候補地の中の一つである市役所庁舎東側は、市有地であるため借地料は発生しない。近鉄四日市駅前コスト面で不利と思われるが、建設予定地としてなぜ選んだのか。

政策推進部長 他の候補地と比べ、十分な敷地を確保できること、近鉄四日市駅から歩行者デッキで駅と図書館が直結すること、民間施設との連携が期待できることで、中心市街地のさらなるにぎわいにつながるという利点等から、総合的に判断した。

議員 繁華街に近接する環境的な課題やコスト等から、当初検討していた市役所庁舎東側について、再検討すべきである。

※ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律

防 災

安心してペット同行避難ができる体制の整備を



公明党
あらかみ みゆき
荒木 美幸



議員 過去の災害では住民が避難せずペットのために自宅にとどまる事例や、取り残されたペットが放浪する事例が多数生じた。本市の地域防災計画では国のガイドラインに沿って、飼い主の責任による同行避難（※1）を原則としているが、飼い主に対してどう啓発しているのか。

健康福祉部保健衛生担当部長 出前講座等で、日ごろからできるしつけ、災害時に持ち出す物や避難所の基本ルール等を周知している。防災訓練でも啓発や助言を行っている。

議員 地域が同行避難の必要性を認識し、受け入れのノウハウを共有できるよう、まず市主体で同行避難訓練を実施してはどうか。また、家族で話し合う契機となるよう家族防災手帳に

ペットの災害対策について掲載してはどうか。

危機管理統括部長 同行避難を想定した訓練を行う地域もある。市としても市民総ぐるみ防災訓練等での同行避難訓練の実施を検討したい。また、周知については、家族防災手帳やホームページへの掲載など、機会を捉え発信していく。

議員 発災時や防災訓練で獣医師がペットの健康状態やクレートトレーニング（※2）等に対し助言することが有効である。獣医師の職員の活用とともに、獣医師会と連携してはどうか。

健康福祉部保健衛生担当部長 防災訓練では獣医師職員が専門的な助言を行っている。また、獣医師会との協定では、避難所等の動物救護所の設置等に協力してもらっている。

※1 飼い主とペットが共に安全な場所まで避難した後、ペットは原則として専用の屋外スペースで飼育すること

※2 ペットがクレートと呼ばれる箱型の囲いの中でも落ち着いて過ごせるようにする訓練

学校図書館

学びと交流の拠点となる学校図書館を目指せ



公明党
もりともこ
森 智子

議員 子どもたちが最も身近に本と出会える学校図書館の魅力を高めるには、蔵書と人材の充実が必要である。蔵書について、国は学校図書館図書標準（※1）（以下、図書標準）の達成、計画的な図書の更新、新聞の複数紙配備などを求めているが、本市の状況はどうか。

教育長 学級数の増加等で図書標準を達成できなかった学校が一部あるが、市全体では図書標準を達成している。学校図書館資料除籍基準に基づき適切に図書を選定、廃棄したり、図書標準未達成の学校には予算を増額したりするなど、計画的な更新を行う。新聞の配備については、紙やデジタルの新聞を含めた多様なメディアの中で、社会情勢や子どもたちの実態に合った情報媒体の在り方、活用の仕方を検討していく。

議員 司書教諭（※2）と学校図書館司書が連携して子どもたちの読書活動を支援することが重要である。司書教諭は担任等も兼任しているが、定期的に小中学校を巡回する学校図書館司

書との連携は十分に取れているのか。

教育長 子どもたちの読書活動を支援するため、図書館司書と司書教諭は情報共有しながら、連携して図書の紹介やイベントを企画し、子どもたちの本への興味を高めるよう努めている。

議員 学校と地域との交流が増えていく中で、学校図書館が子どもたちの学習の拠点としてだけでなく、本を通して地域の人と交流できる場として活用することも検討してほしい。



子どもたちが最も身近に本と出会える学校図書館のさらなる充実が求められる

※1 学級数ごとに学校図書館に整備すべき蔵書冊数の標準

※2 学校図書館資料の選択や収集、子どもの読書に対する指導など、学校図書館の運営や活用の中心的な役割を担う教員



安全

子どもたちが安心して遊べるように



政友クラブ
かみまり
上 麻理

議員 校庭や公園で地面から突き出たくぎ等の危険物が原因で子どもが負傷する事故が全国で起きている。国は校庭等の安全点検を求めているが、本市の対応状況はどうか。また、目視の点検では地中の危険物を発見できないが、高精度な金属探知機を利用することで、より多くの危険物を除去できる。そこで、市が金属探知機を自治会やボランティア等へ貸し出し、施設を利用する人たちと協力して点検し、子どもたちが安心して遊べる場所を提供してはどうか。

都市整備部建設担当部長 所管する公園等で目視による点検を実施し、くぎ等の危険物を除去した。金属探知機による調査は公園等の安全な環境の確保に有効と考えており、改めて金属探知機による調査を実施したい。

教育長 すべての小中学校で目視による点検を実施した。今後もおおむね2年ごとの業者による運動場整備や定期的な安全点検の徹底、児童生徒が自ら安全な環境づくりに取り組む教育の実施などにより、安全を確保していく。

こども未来部長 危険物がないか目視による園庭の点検を毎日実施している。園庭は一般の人に開放しておらず危険物が持ち込まれるリスクは低いですが、安全確保に向け点検をより徹底する。

議員 金属探知機を使用することで、目視の点検に比べ、より多くの危険物を発見した事例が報告されている。学校や園での使用は考えていないとの答弁は不満であり、再考を求める。



金属探知機を使用して子どもたちがより安全に遊べる環境の確保が求められる



食品衛生

食肉文化を守り育てるための施設整備を



公明党
樋口 博己



議員 食肉センター・食肉地方卸売市場は施設の老朽化の進行に加えて、衛生面を強化するための、家畜搬入車両の場内一方通行化が課題となっている。令和4年には議会から早期解決に向けた提言を行っているが、その後の対応状況はどうか。

商工農水部長 場内一方通行化の手法を調査したところ、施設の敷地の拡張が必要だと判明した。隣接する県有地を取得するため、県の関係部局と協議したところ、県から代替地を探すよう要請があった。近隣の土地の所有者に売却の意向を確認したが合意を得られず、代替地の確保が難航している。

議員 令和5年11月に、関係団体から家畜伝染

病などに対応した施設への建て替えを求める要望書が提出されたが、どう対応するのか。

商工農水部長 衛生面の強化のため、まずは家畜搬入車両の場内一方通行化を進めていきたい。県が求める代替地を確保するため、近隣の市有地の活用も含めて関係部局と協議していく。また、施設の老朽化が進んでいることから、場内一方通行化については、関係者の意見を聞きながら、将来の施設の建て替えも念頭に置いて、無駄のない手法を検討していく。

議員 当施設には近隣市町からの利用者もあり、これらは県の地域全体の課題である。県と市が協力して問題を解決し、食肉文化をさらに豊かにするよう取り組んでほしい。

障害福祉

夕方支援の実施で「18歳の壁問題」の解消を



公明党
山口 智也



議員 特別支援学校の生徒は、高等部卒業後、生活介護(※1)や就労継続支援(※2)等の事業所に通うことが多い。18歳まで利用できた放課後等デイサービス(※3)は夕方までの利用であるのに対し、事業所は午後3時ごろまでであるため、帰宅する子どもを出迎える家族は就労が制限される、「18歳の壁問題」がある。先進自治体では障害者に日中活動の場を提供し、一時的な介護や見守り等の支援を行う日中一時支援事業で夕方支援を実施しているが、本市の検討状況はどうか。また、利用者へのニーズ調査と事業所への意向調査を実施すべきではないか。

健康福祉部長 市内の生活介護事業所のうち、日中一時支援の指定事業所を対象に調査を実施

した。その結果、実施を検討したいとする事業所もあったが、報酬や人員確保などの観点から実施は難しいとする事業所もあった。今回の調査結果や他市の事例を踏まえ、利用者の具体的なニーズを把握し、持続可能な支援の在り方を検討したい。また、全国的な課題であることから、国に対し夕方支援の充実を要望したい。

議員 共働き世帯の増加で、夕方支援のニーズはさらに増加していくと思われるため、前向きな事業所への試行的な給付も検討してほしい。また、障害のある子どもを持つ保護者の多くは、日ごろ支援を受けていることで意見を言うことを遠慮する人が多いと聞く。支援が必要な市民に向けた温かな政策を検討してほしい。

※1 重度障害者が食事や入浴等の生活支援を受けるサービス ※2 通常の就労が困難な人が、支援を受けながら働く場の提供を受けるサービス
※3 6歳から18歳までの障害児を対象とした、放課後や学校休業日に生活能力向上のための訓練等を受けるサービス

まちづくり

中央通り整備の手続きは適正なのか



友友クラブ
森川 慎



議員 中央通り再編事業により大掛かりな工事が進められているが、この中央通りは都市計画道路であるにもかかわらず、都市計画審議会(以下、都計審)の審議前に着工している。これは都市計画法に基づいた適正な手続きなのか。

都市整備部長 当事業は道路区域内で道路の再編を行うものであり、国や県と調整を行い、都市計画事業ではなく、一般の道路事業として工事に着手している。都計審へは、基本計画をまとめた後に諮ることとした。都市計画の変更手続きと並行して工事に着手したことは、関係法令に基づき問題ないと認識している。

議員 都市計画事業でないのであれば、なぜ都計審に諮るのか。都市計画の変更が生じるから

ではないのか。

都市整備部長 道路区域内に公園等を整備することは都市計画に位置付ける必要があり、しかるべきタイミングで都計審に諮ったものである。

議員 規定された手続きを正しく行うからこそ、住民から行政への信頼が生まれる。法にのっとって手続きを進めるべきと強く主張する。

関連質問(川村幸康議員) 当事業が都市計画事業でないにしても、事業と並行して都市計画の変更手続きを進めることを、事前に議会へ説明すべきだったのではないか。

館副市長 都市計画と事業の関係性を事前に説明しなかったことは反省し、今後は、同様の事例があれば、事前に説明して事業に着手したい。

まちづくり・男女共同参画

まちの利便性向上と女性のキャリア支援に取り組み



政友クラブ
さいさい きぬよ
笹井 絹予

議員 JR南四日市駅(以下、駅)周辺には多くの商業施設があり、駅の西側を通る国道1号は常に渋滞している。渋滞緩和のためにも鉄道の利便性の向上が必要だが、駅舎は老朽化し、駐輪場には停めきれない自転車があふれている。日永地区まちづくり構想(※1)にも位置付けられている駅周辺整備を市はどう進めるのか。

都市整備部建設担当部長 都市計画マスタープラン地域・地区別構想(※2)(以下、構想)の策定に向け、地域と協議を進めている。地域と十分協議しながら、駅周辺の環境整備を構想に位置付け、事業を進める。また、新たな駐輪場の整備に向け、JR東海と協議していく。

議員 女性のIT技術者は増えているが、まだ少ない。情報通信業はコロナ禍でも雇用が増えており、女性のデジタルスキル向上と就労支援は非常に重要である。女性デジタル人材育成事業「デジタルウーマン四日市2023」の実施状況と今後の展望はどうか。

市民生活部長 定員15人に対し3倍以上の応募

があった。全10回の講座では基礎講座と実践講座を開催し、10回目には商工会議所の協力を得ながら、企業とのマッチングの場を設ける。女性がデジタルスキルを武器に多様な働き方で活躍できるよう工夫し、事業に取り組みたい。

議員 IT市場は急成長しており、質の高いデジタルスキルがあれば就職や再就職につながりやすい。時流に遅れずに事業を進めてほしい。



JR南四日市駅。駅周辺の環境整備が求められる



※1 住民が主体となって策定する、地区単位のまちづくりの計画
※2 地区まちづくり構想を基に市が策定する、地区単位の土地利用や都市整備に関する計画

市立四日市病院

医療メディエーション相談室の設置を目指せ



フューチャー四日市
いせ としこ
伊世 利子

議員 市立四日市病院(以下、病院)が患者等からの意見を聴くために設置している患者意見箱について、寄せられた意見と回答を掲示する方向で検討するとの答弁が産業生活常任委員会であった。現在の検討状況を確認したい。

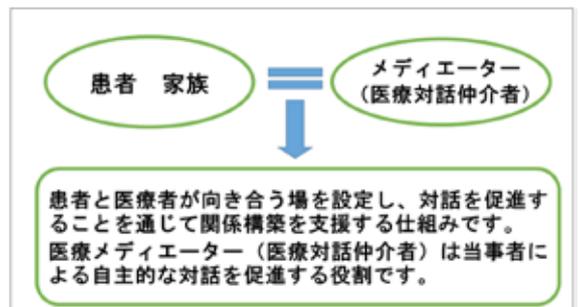
病院事業副管理者 意見に対する病院の取り組みなどについて知ってもらうため、個人が特定される恐れがあるものや誹謗中傷などを除き、早期に公表していくことを検討している。

議員 病院への苦情や不信感に対応してもらえ、窓口があれば、より安心して病院を受診できる。患者中心の医療、看護を提供するため、中立的な立場で医師と患者、家族の対話を促し、信頼関係の構築を支援する医療メディエーションのスキルを持つ専任の相談員を配置した相談室を設置してはどうか。

病院事業副管理者 患者や家族からの医療や生活等の相談を受けている地域連携・医療相談センターのサルビアには、医療メディエーションの研修を受講した職員がいる。また、各部門の

担当者が集まって患者支援の取り組みを評価する患者サポート会議を毎週開催している。意見や不満等に対応する専用窓口の設置については、組織の在り方や職員の確保などに課題があるため、今後、他の同規模病院の情報を収集し、研究していきたい。

議員 患者へのサポート体制を充実させ、患者、家族に開かれた病院になることを期待する。



専門の相談員による患者やその家族に寄り添った相談体制が求められる



国際交流

交流事業による姉妹都市提携のさらなる発展を



政友クラブ
おぎす ともゆき
荻須 智之



議員 ロングビーチ市との姉妹都市提携60周年記念事業を開催したが、トリオ事業（※1）における3週間のホームステイ期間を延長してはどうかとの意見もあり、期間を長くできないか。

政策推進部長 当初は1カ月の滞在であったが、教師が長期間職場から離れることが困難であることやホームステイ先の確保が難しいことを考慮し、3週間となった。期間の延長については、今後、姉妹都市協会と十分に協議したい。

議員 本市ではYEF（※2）という独自の制度を設けており、国の制度であるALT（※3）に準じた英語指導員を採用しているが、YEFを採用することで具体的な成果はあるのか。

教育長 YEFは授業の他、休み時間等でも生

※1 親善を目的として、ロングビーチ市との間で高校生2人と教師1人（トリオ）を相互に派遣する事業

※2 Yokkaichi English Fellowの略。四日市市英語指導員 ※3 Assistant Language Teacherの略。外国語指導助手

徒たちと英語で関わり、英会話能力の向上に寄与している。他に小学校教員向けの英会話研修やトリオプログラム参加者のサポート等も行う。また、YEF経験者が現地においてYEFの採用やオンライン交流の支援をする等、本市とロングビーチ市をつなぐ役割を果たしている。

議員 今後は教員も含めた職員の留学も検討し、さらに姉妹都市提携を発展させてほしい。また、両市の友好関係を保持するために、慰安婦像と呼ばれる日本を批判する銅像について、ロングビーチ市民に真実を広く知ってもらわなければならない。ロングビーチ市長と市当局に朝日新聞の慰安婦関連記事に誤報があったことを説明し、銅像を建てさせないよう働き掛けてほしい。

子育て・福祉

母乳バンクの周知とおもいやり駐車場への配慮を



政友クラブ
いとう つくや
伊藤 嗣也



議員 乳児の消化器疾患等により人工乳を授与できず、母親自身の母乳も出ない場合にドナーミルク（※）を提供する「母乳バンク」がある。市立四日市病院での利用状況はどうか。また、市は母乳バンクの活動を周知し、母乳の提供を呼び掛けるべきだと考えるがどうか。

病院事業副管理者 令和4年5月以降28人の乳児にドナーミルクを使用した。母乳が必要な乳児へ速やかにドナーミルクを提供できる効果的な取り組みであり、今後も有効に活用していく。

こども未来部長 母乳バンクの認知度はまだ低いのが現状である。市のホームページや子育て支援アプリなどで、ドナーミルクとして母乳を寄付できる母乳バンクの制度を周知していく。

※ 母乳バンクへ寄付された母乳

議員 市のおもいやり駐車場の多くは屋根が設置されていない。おもいやり駐車場の利用者は車の乗降に時間を要することが多く、雨の日はぬれてしまうため外出自体を控えることも考えられる。配慮を必要とする人たちに天候を気にせず施設を利用してもらえるよう、駐車場に屋根を設置することで、市の思いやりの気持ちを示してはどうか。

渡辺副市長 構造上の問題等により、直ちに屋根を設置することが難しい場合もあるが、利用者の外出を支援するためにも、屋根のあるおもいやり駐車場が増えることは望ましい。

こども未来部長 健康福祉部と共に、屋根の設置について各施設の所管部局へ働き掛けていく。

スポーツ

アーバンスポーツの振興で活力あるまちづくりを



政友クラブ
たろう せうこう
笹岡 秀太郎



議員 アーバンスポーツ（※1）は競技としてだけでなく、音楽やファッションと融合し仲間や観客も一体となって楽しめるサブカルチャー（※2）でもある。本市の第4次スポーツ推進計画にはアーバンスポーツについて記載がないが、今後施策として取り組む視点はあるのか。

シティプロモーション部長 本市でも関係団体と連携し、アーバンスポーツの普及、振興を図っており、次期のスポーツ推進計画には改めて位置付けることを検討したい。

議員 アーバンスポーツを生かしたまちづくりという新しい視点で、アーバンスポーツを中央通りの再編事業にどう生かすのか。また、スポーツ庁が中央通りの歩行空間をスポーツの場とし

て活用する実証実験を行うが、この機会を最大限生かすため、実証実験にどう関わるのか。

都市整備部長 昨年度の賑わい創出社会実験では仮設のスケートボードパークを設置し、多くの人が来場した。アーバンスポーツを飲食、物販やイベント等と連携させるなど、相互に好影響を与える空間の活用を関係者と検討していく。実証実験は市が多くの示唆を得る機会であるとともに、中央通りの再編事業を全国に発信する機会にもなるため、積極的に関わっていく。

議員 実証実験の成果や本市のまちづくり施策を近隣市町にアピールすれば、非常に面白い取り組みになる。アーバンスポーツの振興を活力あるまちづくりにつなげてほしい。

※1 スケートボード、スポーツクライミングなど都市空間を利用し、技やスピード等を競う競技の総称

※2 従来の一般的な文化に対する、若者文化など特定の集団が持つ文化

介護保険

要介護度の改善で得をする仕組みづくりを



フューチャー四日市
おだ
小田あけみ

議員 本市の要介護認定は他市町と比べて審査が厳しいという市民の声も聞こえる。本市の要介護度は公平、公正に認定されているのか。

渡辺副市長 全国一律の基準に基づき、対象者の身体状況の調査結果と主治医意見書を基にコンピューターによる一次判定を行った後、保健、医療、福祉の専門家で組織する介護認定審査会で二次判定を行う。結果は、認定調査の調査票や主治医意見書と共にケアマネジャーも確認できる。今後も適切な要介護認定に努める。

議員 要介護の認定率（※1）が全国平均や県平均よりも低く抑えられているのは、市が健康づくり事業に力を入れている成果であり、それは素晴らしいことである。しかし、健康づくり

に励んで要介護度が下がると、現在の介護保険制度では支給額が減ることになり、メリットが感じられない。要介護度が下がれば、介護事業者や本人に奨励金を支給する仕組みをつくってはどうか。

渡辺副市長 国は、ADL（※2）維持等加算など目標達成に向けたインセンティブを制度化している。市として奨励金制度の創設は想定していないが、介護報酬における算定可能な加算を介護事業者にしっかりと周知していく。

議員 要介護認定後に状態が改善することで得をする仕組みがあれば、審査が厳しいとの不満も減り、健康づくりに前向きに取り組む動機付けにもなるため、ぜひ検討してほしい。

※1 65歳以上の被保険者に占める要支援・要介護認定者の割合

※2 日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作。起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排せつ・入浴・整容の動作



住環境

良好な近隣関係と健全な生活環境を守るには



フューチャー四日市
ごとう
後藤純子

議員 本市の中高層条例（※）（以下、条例）では、中高層建築物等の建築による建築主と近隣住民との紛争を予防するため、近隣関係住民等から申し出があった場合、市は双方の主張を調整する「あっせん」を行うが、これまでの実績と市の対応を確認する。また、中高層建築物の隣接地の住民からはプライバシーの侵害を懸念する声がある。他都市では、プライバシーへの配慮についても建築主が近隣関係住民へ説明すべき事項としているが、本市ではどうか。

都市整備部長 本市では過去10年で1件のあっせんを行った。生活環境について紛争が生じ当事者間で解決が困難な場合、市が中立の立場で双方の主張を調整するため、会場の提供や進行

などを担い、解決に向けた話し合いを促す。今後も当事者間で紛争が解決されるよう条例の適切な運用に努める。本市においても条例の施行規則でプライバシーへの配慮を含め、周辺環境に及ぼす影響を説明すべき事項としているが、建築主が説明会の内容を市へ報告する書式にはプライバシーへの配慮という文言がない。今後、説明事項をより分かりやすくするため、他都市の事例も参考に、今年度内に施行規則を見直す。

議員 建築主と近隣住民との紛争を予防するには、譲り合いの精神を持ちながら話し合いを重ねることが重要である。良好な近隣関係と健全な生活環境の確保が本市の住みよいまちづくりにつながることを期待する。

※ 四日市市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例



企業支援

中小企業振興条例基本条例の制定を



フューチャー四日市
かのう やすき
加納康樹

議員 県は、中小企業・小規模企業振興条例において、中小企業の役割を重視し、中小企業の振興を行政の柱とすることを明確にしている。他市では中小企業振興基本条例の制定に向けた動きがあり、本市でも関係団体から条例の制定を要望されている。本市も条例を制定し、中小企業を支える姿勢を見せるべきではないか。

商工農水部長 本市には中小企業振興規則があり、必要な事項を定めている。また、総合計画に中小企業振興に関する理念を盛り込み、経済関係団体と協力して支援政策を進めてきた。本市の工業統計は、事業者数は中小企業が96%を占めるが、売上高や従業員数は大企業規模の事業所が大半を占めている。本市の産業構造の特

徴も踏まえ、現時点では、条例を制定する考えはない。

議員 他市の中小企業振興条例では大企業の役割も明記している。条例の制定により、中小企業と大企業を包括して支援できるのではないか。

商工農水部長 総合計画には細かく定めていないが、市民、事業者の役割も盛り込んでいる。社会情勢が変化し、新たな役割や政策が必要になる場合には、条例制定も検討したい。

議員 既存の規則を条例に組み換えるだけであり、制定は容易である。行政は条例に基づいて業務を行うものであり、条例上に会議体を規定して、関係団体との連携を図るなど、中小企業の振興を支えるための条例をつくるべきだ。



運転免許証返納 運転免許証の自主返納者に対する支援策を



フューチャー四日市
むらやま しげお
村山 繁生

議員 高齢者の交通事故が依然として多発しているが、生活への影響が大きいため運転免許証を返したくても返せない人が大勢いる。交通事故を減らすために、市は返納者への直接的な支援策を来年度中に示すべきではないか。

都市整備部長 本市では運転免許証の自主返納の促進に関連する計画に掲げ、バス事業者は返納者の運賃割引等を行い、市は返納者を含む高齢者の移動手段としてデマンドタクシーを運行するなどの支援を行っている。これらの支援を継続的に行うためには、既存の公共交通の維持、再編が重要と考える。加えて自主返納の促進策として具体的なインセンティブを検討していく。

議員 運転免許証の自主返納の促進には、返納者への直接的な支援と、自主運行バス等による移動手段の確保を並行して行うことが有効である。市街化区域の移動手段の確保については河原田地区で実証実験を予定しているが、どう展開するのか。また、福祉面での支援策はどうか。



※ 地域で活動するボランティア団体等の住民団体が、要支援者に提供するサービス

都市整備部長 河原田地区で予定している実証実験では、デマンド型乗り合い送迎サービス等を想定している。今後、実証実験の結果を十分検証し、適切な移動手段の検討などを行い、誰もが快適に移動できる環境の構築に取り組む。

渡辺副市長 住民主体サービス（※）による付き添い支援を実施しており、今後、全地区への運営団体の設置を目指す。また、新たな移動支援の導入も含め検討し、施策を充実していく。



バス路線の廃止後、移動手段の確保のため本市が交通事業者と共同運行するこにゅうどうくんライナー

子育て・労働環境 子育てしながら働きやすい環境づくりを



新風創志会
やまだ ともみ
山田 知美

議員 子育てしながら働きやすくするには、子育て支援だけでなく企業の受け入れ体制も重要である。市は子育て支援、男女共同参画などを促すため「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰を行っているが、認知度が低いと感じる。より多くの人への周知方法の工夫はどうか。

商工農水部長 受賞企業の取り組みや成果を公開することで他の企業の模範例となるほか、優れた企業として認知され販路拡大や人材確保につながる。表彰の目的が達成されるよう、他部局と連携して十分な周知に努める。

議員 事業を認証制度にすれば、認証されているから働きやすい企業だという判断基準にもなる。企業が自社での働き方を見つめ直す機会となる事業にしてほしい。次に、出社せずに仕事ができるテレワークは、子育て世帯に有効な働き方だが、女性デジタル人材育成事業に対する今後の考え方や企業への働き掛けはどうか。

市民生活部長 デジタル分野で女性が力を発揮し、実績を積むことは、固定的性別役割分担意

識の解消を促進し、誰もが働きやすい社会の実現にもつながると考える。引き続き企業のニーズの把握や掘り起こしに努め、女性と企業とのマッチングイベントの準備を進めるとともに、企業へのアプローチの強化を検討したい。

議員 女性のスキルを高めれば活用する企業が増え、世帯所得が上がり子どもの貧困問題の解決につながる。企業の環境整備への支援を望む。

子育てしながら働きやすい環境とは？

- ・ 子連れで仕事ができる場所を作って欲しい。 ・ 会社の理解
- ・ 正規で残業なし、定時で帰れる仕事が欲しい
- ・ 面接で子育てに理解がある企業だと思い就職をしたが、現実とは違った。
- ・ 子供の体調不良で仕事を急に休む時、少しでも休みやすくなると助かる。
- ・ 保育時間の延長・時短勤務先の拡充 ・ 子供の急病に対応してくれる仕事
- ・ 分かり合えるので母子家庭だけが働ける仕事を作って欲しい。
- ・ 子供を預けやすい環境や低料金や無料で預けられる場所が欲しい。
- ・ 病児保育がもっと広がって利用できる場所が増えると助かる。
- ・ 子供が病気の時見てくれる人がいる環境の確保
- ・ 出産給付金や支那金よりも、中学高校のより学費がかかる頃からの支援を拡充してほしい

令和5年11月13日「子育てしながら働く家庭」へ独自に行ったアンケート調査。61世帯が回答



公共施設

市民が利用しやすい公共施設の予約システムを



新風創志会
辻 裕登



議員 公共施設予約システム（以下、システム）で予約できない施設があるのはなぜか。

総務部長 多目的利用施設では共用利用する際に、利用目的の異なる利用者間での予約の調整が必要なためである。今後は、システムで予約できる施設が増えるように担当部局と調整したい。

議員 システムで施設予約を行うには、まず施設窓口で利用者登録のための本人確認が必要である。さらに、仮予約後に改めて施設窓口へ行って利用料金を支払う必要がある。結局、施設窓口に行かなければならない現在の方法は、施設で直接予約を行うのと手間は変わらない。市はオンラインで本人確認や利用料の決済を行える

ようにするなど、国の補助も活用し、市民が利用しやすいシステムに改めるべきではないか。

総務部長 偽名等での申請を防ぐため、施設窓口で本人確認を実施している。また、システムに決済機能がないため、施設窓口で利用料金を支払う必要がある。今後はインターネット上での本人確認や既存の電子申請システムとの連携が可能か研究する。システムの全面的な更新については、利用者の利便性向上だけでなく、職員の負担軽減にもつながるが、技術的な課題や費用対効果などを踏まえ慎重に検討していく。

議員 開発費や維持管理費を抑えるため、近隣市町と連携し、システムの広域化についても検討してほしい。

林業

持続可能な林業としての自伐型林業の導入を



新風創志会
平野 貴之



議員 森林の管理が行き届いていないと、山間部だけでなく平野部にも大きな被害が及ぶ。本市でも、豪雨の後には海や川が流木で埋め尽くされる。また、現行の林業は大型機械を使って森林を皆伐（※1）するので、土砂崩れを誘発する事例が多い。その対策として、近年土砂災害のあった熱海市では、自伐型林業（※2）に取り組み、若者を雇用している。本市でも、持続的に山林を管理して災害リスクを減らし山間部の地域活性化にもつながる自伐型林業を導入してはどうか。また、近隣市町との広域連携が効果的と考えるため、県に働き掛けてはどうか。

商工農水部長 自伐型林業は、従来の林業に比べ、大型機械を使わずに始められるため、荒れ

た森林を再生させる選択肢の一つと言われる。しかし、本市を含む周辺地域の私有林は、スギ・ヒノキ等の人工林の面積が小さく各地に点在し、伐採した原木を買い取る施設もないため、自伐型林業を推進することは難しい。しかし、森林の管理に有効な手段と考えるため、市民から相談があった場合は必要な情報を提供したい。

議員 自伐型林業では、まきやC材（※3）として販売して収益を得ている事例もあるため、いかに工夫するかが重要であると聞いた。自伐型林業は小さな森林でもできる。今後も、本市で実施可能な新たな林業を提案していくので、本市に合った自伐型林業の手法を検討してほしい。

※1 森林を構成する林木の一定のまとまりを一度に全部伐採すること
※2 適正規模の山林を保全管理し、毎年、間伐と生産を実施しながら持続的に収入を得ていく林業
※3 大きく曲がった部分や大きな節がある丸太。主にチップやパルプに利用される

P T A

PTAをもっと楽しく！もっとクリアに！



新風創志会
諸岡 寛



議員 PTAへの加入は自由であることを知らないまま入会する保護者もいる。加入は義務ではなく、加入しなくても子どもに不利益は一切ないことを教育委員会は保護者へ周知すべきではないか。

教育長 PTAは社会教育関係団体として独立した任意団体であり、法律上、教育委員会は求めに応じた助言などを除き干渉等を行うことはできないが、加入は自由意思であること、また保護者が未加入でも子どもが学校教育活動の中で不当な扱いは受けないことを、四日市市PTA連絡協議会（以下、市P連）や学校長を通じて保護者へ伝えていく。

議員 PTAに対し意思確認を書面で確実に

うなど、入会方法の改善を助言すべきではないか。また、会員の負担となっている他団体の会合や研修会等への参加も義務ではなく、PTAが自主的に判断できることを助言すべきではないか。

教育長 入退会の意思表示の機会を設ける方法については課題として認識してもらうこと、また他団体の会合等への出席を強制されることなく、各PTAが任意団体として自主的に判断できることを、市P連や学校長を通じ助言する。

議員 保護者と教員だけに負担を押し付けるのではなく、かつての日本のように地域の宝である学校や子どもを地域全体で支えることも視野に入れ、PTAがより良いものになってほしい。

空き家対策

住生活を守るため、空き家問題に適切な対応を



新風創志会
はやかわ しんべい
早川 新平

議員 市内の一戸建て住宅を対象とした令和2年度の実態調査では、3146戸の空き家が確認されている。このうち、保安上や衛生上、周辺へ影響を及ぼす状態の悪い空き家347戸は、現在もその多くが改善されていない。住宅が密集している地域では、何の非もない隣家へも影響が及ぶ恐れがあるが、市は空き家とその隣家に対し、どのように対応しているのか。

都市整備部長 通報等を受けた場合、現地調査を行い、管理が不十分と判断すれば所有者に適切な管理を依頼するとともに、活用できる制度を周知している。危険が切迫し、かつ所有者が対応できない場合、防護ネットの設置など市が必要最低限の緊急安全措置を行う。また、「空き家の手引き」を作成し、予防策や支援制度などを紹介している。所有者が福祉施設に入所して空き家になることも多いため、福祉部局や施設等を通じて手引の活用を働き掛けている。

議員 令和5年12月の空家特措法(※)の改正で何が変わり、何ができるようになるのか。

※ 空家等対策の推進に関する特別措置法

都市整備部長 特定空き家になる手前の状態の空き家が管理不全空き家と位置付けられ、市は法に基づく厳格な指導や勧告を行える。勧告を受けた空き家の敷地は固定資産税等の軽減措置の対象外となるため、管理不全空き家になる前に所有者による改善を促すことができる。

議員 法改正でできるようになったことも活用し、市民の安心安全を守ってほしい。



空き家の手引き。空き家を放置した際の問題や管理、活用、解体、相続手続きなどを紹介している



11月定例月議会の議案に対してご意見をいただきました

一部の議案について、委員会で審査される前に市民の皆さんに情報提供を行い、ご意見をいただいています。

詳しくはホームページへ



◆広報紙デザイン制作等業務委託費 2件

・市民の目を引き、市政への関心と理解を深められる効果的な紙面を作ってほしい。

◆子ども医療費システム改修業務委託費 4件

・子ども医療費の助成期限を延長する自治体が増えている。四日市市は遅れているのではないのか。

◆民間プール施設を活用した水泳指導業務委託費 5件

・学校のプール管理の維持費や手間が削減されるので良いことだ。
・民間のプール施設で水泳の専門家から指導してもらった方が良い。

◆萬古焼生産安定化支援事業補助金 4件

・地場産業育成のためにも、事業者へ少しでも支援が行き届くようにしてほしい。
・ペタライトに代わる材料も考えた方が良い。

◆シングルマザー等のための家計相談事業業務委託費 6件

・相談回数や時間をもっと増やしてはどうか。
・さまざまな課題を抱える相談者への適切な支援につなげてほしい。

◆工事請負契約の締結について

－四日市市民公園整備工事－

7件

・ゆっくり食事ができる公園にしてほしい。
・公園利用者の騒音対策も行ってほしい。
・公園の噴水を改修してほしい。

◆工事請負契約の締結について －近鉄四日市駅周辺(四日市中央線)整備工事(その5)－

7件

・資材費や人件費の高騰で工事費用が増加し、予算は不足しないのか。また、それに見合った経済効果はあるのか。
・円形デッキより福祉や空き家対策を優先すべきではないか。
・市民や観光にきた人が楽しめる、四日市のシンボルといわれるようなものにしてほしい。

2月定例月議会は、2月7日(水)に市議会ホームページ(<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>)に議案と資料を掲載し、2月26日(月)までご意見を募集する予定です。
皆さんからのご意見をお待ちしています。

市議会モニターをやってみませんか？

四日市市議会では市民の皆さんにとって身近で分かりやすい議会運営となるよう、今回、令和6年度の市議会モニターを募集します。ご応募をお待ちしています。

市議会モニターとは

より市民に開かれた議会となるための参考とするため、「市議会モニター」として登録いただいた市民の皆さんに、可能な範囲で市議会を傍聴したり、CTYやインターネット（ライブ中継・録画）で議会の様子を視聴したりする中で、市議会の運営等に関する要望や提言、意見をお寄せいただくほか、意見交換会への出席やアンケートへの回答などの活動をお願いするものです。

活動の一部を紹介

5月 委嘱式

議長より、委嘱状をお渡しします。議場見学もできます。



7月 研修会

議会のことが分からなくても大丈夫です！議会の仕組みや会議の流れをご説明します！



11月 意見交換会

テーマに沿って議員と意見交換ができます。
(今年度の詳しい内容は隣のページを参照)



市議会に対するご意見、ご提言の提出

可能な範囲で傍聴・視聴して、市議会に関するご意見等をお寄せください。なお、必ず意見を出す必要はありません。何か気付いたことがあれば、お気軽にご意見をお寄せください。



これまでにこんなことが改善されました！

本会議の傍聴受付での住所・氏名の記入を廃止し、傍聴券を交付するよう変更しました。



【活動内容】

- (1) 議会運営に関するご意見をいただきます。
- (2) 本会議や委員会等を可能な範囲で傍聴・視聴し、ご意見や提言を提出してください。
- (3) 研修会や意見交換会を年1回程度開催しています。議会運営に関する疑問やご意見をお聞かせください。
- (4) その他、アンケートへの回答や議会から依頼する内容についてご意見をいただく場合があります。

【募集人数】 10人程度

【資格】 満18歳以上の市内在住者（公務員、各議会議員、市の行政委員は除く）で、市議会の仕組み・運営や、市政・地域社会の発展に関心がある方

【選考方法】 年齢・性別・居住地等に著しい偏りの生じないよう考慮します。

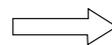
【任期】 1年。ただし、再任（2回まで可）していただくことができます。

【応募方法】 住所・名前（ふりがな）・性別・年齢・電話番号・FAX番号（※）・PC用メールアドレス（※）・応募理由を記入の上、持参・郵便・FAX・メールのいずれかの方法で四日市市議会事務局へお申し込みください。

様式は問いませんが、必要な方は市議会ホームページ、また、各地区市民センター等に応募用紙がありますのでご利用ください。

※ 任意の記入項目

こちらのQRコードからもお申込みいただけます。



【募集期間】 令和6年4月19日（金）まで（必着）

【委嘱式】 令和6年5月下旬（予定）

【その他】 特に報酬はありませんが、年度末に記念品をお渡ししています。一般公募のほか推薦の方も含めて、全体の定員は40～50人程度です。

市議会モニターさんとの意見交換会を開催しました

11月14日に市議会モニターさんとの意見交換会を行い、32人の方に出席していただきました。
 今回は「市議会モニター制度について」「市議会を傍聴・視聴して思うこと」の二つのテーマで議員と意見交換を行いました。

いただいたご意見の一部を紹介します。

市議会モニター制度について

●任期について

〈意見〉市議会モニターを最長2年間できる現在の制度のまま、任期は1年とし、多くの人に市議会モニターを経験してもらう方がいいと思う。

〈意見〉1年では議会のシステム等を十分に理解できない。2年目に入ると余裕ができて議事をチェックできるようになる。

〈意見〉地域とのパイプをより太くするためには最長2年では少ない。

●職務について

〈意見〉市議会モニターの職務を広げ、政策に対する提案も可能とすべきではないか。

〈意見〉市議会モニターだけが参加できるようなことがあるとやりがいを感じるのではないか。

市議会を傍聴・視聴して思うこと

問 一般質問で取り扱った事項について、その後の状況を把握しているのか。

答 定期的に同じ事項について質問して、現状を確認する議員もいる。

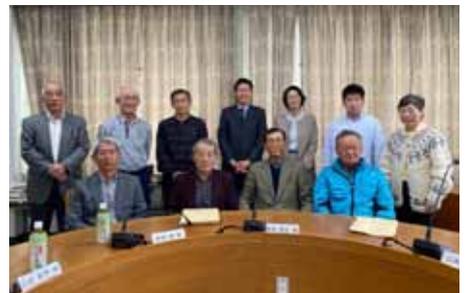
〈意見〉一般質問で投影される資料が見にくい。文字をもっと大きくし、分かりやすく説明してほしい。

〈意見〉一般質問が原稿を読んでいるだけのように感じる。しっかりと質疑してほしい。

〈意見〉執行部へ繰り返し質問してはどうか。また、市長への質問が少ないのではないか。

会場での主な内容を要約してご紹介します。

詳しくはホームページへ →



2月定例会月議会の予定 (日程は都合により変更する場合があります)

月	日	内 容	開始時刻
2	13(火)	本会議 初日(議案説明 ほか)	午前10時
	21(水)	本会議(代表質問)	
	22(木)	本会議(代表質問、一般質問)	
	26(月)~28(水)	本会議(一般質問)	
	29(木)	本会議(一般質問、質疑・委員会付託 ほか)	
3	1(金)、4(月)~6(水)	各常任委員会/予算分科会 *予備日は7(木)午後	午後1時
	12(火)~15(金)、18(月)	予算常任委員会全体会 *予備日は19(火)午後	
	25(月)	本会議 最終日(委員長報告・採決 ほか)	

※委員会は審査の進み具合により、予定より早く終了する場合があります。

※代表質問と一般質問の様子はCTY122ch(サブチャンネル)で放送予定です。

※本会議と委員会の様子は市議会のホームページで生中継し、録画中継もご覧いただけます。

四日市市議会 × 高校生

高校生が四日市の商店街の魅力を発信!! 四日市商業高校 課題研究「シティ・マネジメント」

四日市市議会では、高校生との関わりを積極的に進めています。その中で、高校生の学校生活の様子などを議会が取材して市議会だよりに掲載する企画を行っています。今回は四日市商業高校の3年生「課題研究」の授業で「シティ・マネジメント」講座を受講し、四日市の中心商店街の魅力を動画などで発信する生徒の皆さんにお話をお聞きしました。

ー皆さんは動画の撮影や編集は得意ですか。

A 動画編集のアプリを使ったことがあります。できるだけ自分たちで編集しました。

A 動画制作は楽しいです。先生にアドバイスをもらいながら、自分たちらしいものを作りました。



A 得意ではなかったですが、授業の中でできるようになりました。

A 最初は大変でしたが、自分たちらしい作品ができました。

ーどんな商店街になってほしいですか。

A 友達同士で楽しめる場所が欲しいです。

A 食べ歩きができるようにしてほしい。

A 若い人が来たくなる商店街になってほしい。



ー授業の感想を聞かせてください。

A 地域を活性化させることが面白かったです。

A 情報発信の技術を将来に生かしたいです。

A 商店街の人たちが私たちの活動を知ってくれてうれしかったです。

ー作品を制作する上で工夫したことはありますか。



A カメラワークを工夫したり、動画のつなぎ目をスムーズにしたりして、見やすい動画にしました。

A 目に留まるように

見た目を重視しました。

A 紹介する店舗の雰囲気が伝わるよう撮影を工夫しました。

ー商店街へのイメージは変わりましたか。

A 撮影でカフェやカラオケなどがあるのを知り、楽しそうだと思いました。



ーぜひ、進学後や就職後も授業で勉強した情報発信の技術を生かして、四日市市の魅力を発信してください!



高校生が制作した動画はコチラ

この日に制作した動画は、令和5年11月に本市で開催したB-1グランプリで発表されたそうです。若者らしい表現で商店街をPRする、四日市商業高校の皆さんの今後の活躍を応援しています。ありがとうございました。

あとがき

動画制作が大詰めを迎え大変忙しい中、取材にご協力いただいた四日市商業高校の皆さん、ありがとうございました。

また、今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

広報広聴委員会 (◎委員長 ○副委員長)

- ◎樋口 龍馬 ○谷口 周司 伊世 利子 上 麻理
- 田中 徹 辻 裕登 村上 暁 森 智子

発行/四日市市議会 編集/広報広聴委員会

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市諏訪町1番5号

四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

Eメールアドレス

shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページ

四日市市議会 検索

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

「よっかいち市議会だより」は、環境にやさしいペタフルインキを使用しています。